

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 稲敷市立鳩崎小学校 担当教諭名 星野 京美

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成22年12月21日(火) 10:30~13:00
対象学年と人数	5年 17人 6年 12人
派遣講師名と出身国	タスファイエ ガライヤ (エチオピア) 新垣 マリア (ペルー)
活動の内容	1 ねらい 外国の文化、生活様式、考え方を知りその違いに理解を深める。 2 活動内容 ・講師のお話 自国の言葉であいさつ 自国の話(衣・食・住、学校等) ゲームやダンス 質問 ・ふれあい給食
生徒・保護者等参加者の感想	・エチオピアとペルーの生活が良く分かりました。民族衣装を着せてもらったり、一緒にダンスを踊ったりしてとても楽しい時間になりました。 ・ペルーの方は踊りが好きだと聞いて、明るくて楽しい国なのだと想像しました。 ・エチオピアの国旗には大切な意味があることを知りました。 ・もっと他の国のことも知りたくなりました。
先生の感想	本校で「ワールドキャラバン」を実施するのは2回目ですが、対象の5・6年児童にとっては初めてのなのでとても楽しみに待っていました。世界にはたくさんの国があり、それぞれの国の文化があるということを知ることができました。お二人とも「ワールドキャラバン活動」に大変慣れていて、写真、展示物、民族衣装等を用意し、母国について熱く語って下さり、国を愛する気持ちが伝わってきました。 今回の経験が次へつなげるように、国際理解教育を進めていきたいと思えます。

